

学校運営協議会議事録

日 時	令和7年（2025年）10月16日（木）13時30分～15時00分	
会 場	北海道鷹栖養護学校	
出席者	運営協議会委員6名	学校側7名
出席者	北海道鷹栖養護学校後援会会長 北海道鷹栖養護学校PTA会長 社会福祉法人鷹栖共生会理事長 元北海道特別支援学校長 一般社団法人北野コミュニティセンター理事・集落支援員 北海道鷹栖養護学校長	副校長 教頭 小学部主事 中学部主事 高等部主事 寮務主任 支援部長
議 事	内 容	
1 施設見学	・寄宿舎見学	
2 開会	<p>学校長より、学校運営の現状と地域連携の取組について説明があった。体育館のエアコン設置と防災関連設備の整備が完了したこと、また老朽物置の解体工事が10月20日から24日に予定されていることなどが報告された。さらに、学校広報の充実を目的としてSNS「note」での情報発信を開始し、学校活動を積極的に発信していることが紹介された。</p> <p>また、本校では「共生社会の実現」を教育目標に掲げ、児童生徒一人ひとりが地域の中で自ら学び、社会に働きかける力を育むことを目指しており、地域住民や関連機関との連携を強化し、学校と地域が一体となった取組を進めていく方針が示された。</p>	
3 各学部等における評価と教育活動への意見、感想	<p>(1) 小学部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北野小学校との交流学习（リトミック等）や地域学習（バス遠足・公共施設見学等）を実施した。児童が地域の人と関わる機会を通して主体的に学ぶ姿が見られた。今後は交流活動をより継続的に行い、地域理解を深めていくことが課題である。 <p>(2) 中学部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域体験作業（古新聞や空き缶の回収、コミュニティセンター清掃、駐車場ライン引きなど）を行った。地域の方々との協働を通して社会参加の意識が高まったが、作業活動の周知が十分でなかったとの意見もあり、今後は広報手段の工夫が求められる。 <p>(3) 高等部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域事業所や公共施設での現場実習（清掃作業、農園作業など）を実施した。生徒たちは社会の一員としての自覚を持ち、実践的な学びを深めている。今後も協働学習を継続し、地域とともに成長できる機会を増やしていく予定である。 <p>(4) 寄宿舎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄宿舎では、生活リズムの確立や自立支援を中心に取組を進めている。生徒が安心して生活できるよう支援体制を整えるとともに、家庭や学校との連携を強化している。 <p>(5) 委員からの感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学部の地域体験作業では、生徒達が地図を見て主体的に行動しようとしている取り組みが良いと感じた。 	

<p>3 学校課題等の解決に向けた委員からの検討、熟議</p>	<p>(1) 地域体験作業の周知方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学部で実施している古紙回収や空き缶回収などの活動が地域住民に十分に伝わっていないとの意見が委員より出された。この活動は地域貢献と生徒の社会参加を目的とした重要な取組であり、地域の理解と協力を得ることが不可欠である。今後の周知方法として、防災無線や SNS (note や公式 X など)、回覧板の活用、ゴミステーションでの掲示などの案が委員より提案された。 <p>(2) 防災対応と避難所運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校が地域の指定避難所となっていることから、災害発生時における地域と学校の役割分担や、避難所運営体制の確認が求められるとの意見が委員より出された。特に、災害時に児童生徒・教職員と地域住民が安全に協働できる体制を構築するため、地域の防災担当者や町内会と連携した訓練や情報共有の場を設けることが重要であることを確認した。また、避難所として必要な物資を鷹栖町に要請することに向けて、まずは必要と思われる物資をリストアップすることから始めるなどの案が提案された。 <p>(3) 地域との協働・情報発信について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域とのつながりをさらに強めるため、学校の行事や授業の様子を積極的に発信し、学校の取り組みを地域に理解してもらうことの必要性が確認された。地域との連携のもと、交流や実習機会を拡大していくこと、また「共生社会の実現」という学校の理念を広く共有していくことが重要であるとされた。
<p>閉会</p>	<p>学校長より、本協議会全体を通じて、地域と学校が互いに支え合い、子どもたちの成長を共に見守る体制づくりの重要性が改めて強調された。学校の教育活動が地域社会の理解と協力によって成り立っていることを再確認し、今後も信頼関係を基盤とした地域連携の推進が必要であるとの見解が示された。</p> <p>また、「共生社会の実現」を目指す学校づくりの一環として、現在策定中のグランドデザインにおいては、地域とともに学び、地域に貢献できる人材の育成を明確な方針として位置付けることが説明された。児童生徒の自立と社会参加を支援する教育を推進し、特別支援教育の専門性を生かした地域貢献を今後さらに強化していく方針である。</p>